

## 入社動機「イメージ良い」が3年連続1位。 「転職・独立に関心あり」3割超える。

当社では例年、3月から4月にかけて県内企業の新入社員を対象に意識調査を実施している。今年  
は605名から有効回答を得た。

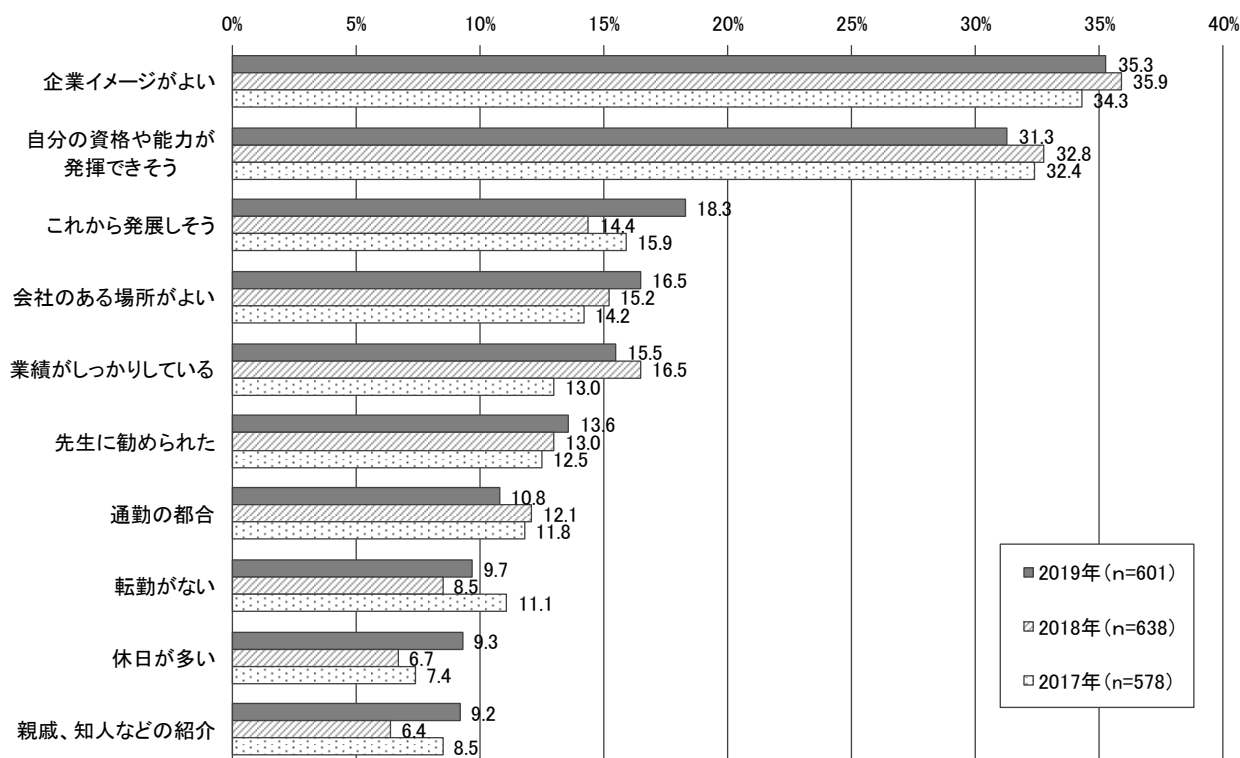
「企業イメージがよい」が3年連続で入社動機のトップとなり、また、新入社員の5割以上が就職  
した企業に「定年まで勤めたい」と回答するなど安定志向は根強いものの、[転職・独立]に関心を持  
つ人は14年ぶりに3割を超えた。

- ◇調査名：「新入社員意識調査」
- ◇調査時期：3月25日(月)～4月12日(金)
- ◇調査対象：当社開催の新入社員研修に参加した新入社員
- ◇有効回答数：605人：男性376人(62.1%)、女性229人(37.9%)

### ■ 入社動機は「企業イメージがよい」が3年連続1位

「入社を決めた主な動機」(複数回答)は、「企業イメージがよい」(35.3%)が最も高く、前年よ  
り0.6ポイント減少したものの3年連続で1位となった。2位は「自分の資格や能力が発揮できそう」  
(31.3%)。「企業イメージがよい」は男女とも1位だったが、女性が40.4%と男性(32.2%)を大き  
く上回った。

図1 入社を決めた主な動機 上位10項目(複数回答)



## ■ 自信があるのは「協調性」「忍耐力」、不足しているのは「創造力」

「社会人として『自信がある』もの」（複数回答）は、「協調性」（27.9%）が最も高く、次いで「忍耐力」（25.5%）、「意欲・やる気」（20.8%）となった。男性は「忍耐力」（26.7%）、「協調性」（24.8%）、「意欲・やる気」（22.6%）の順、女性は「協調性」（32.9%）、「継続力」（24.6%）、「忍耐力」（23.7%）の順となった。「協調性」や「継続力」「集中力」では、女性が男性を大きく上回った。

一方、「社会人として『不足している』もの」（複数回答）は、「創造力」（28.4%）が最も高く、次いで「社交性」（24.5%）、「主体性」（22.5%）となった。男性は「創造力」（29.0%）、「柔軟性」（23.8%）、「社交性」（23.3%）の順、女性は「創造力」（27.4%）、「体力」（26.5%）、「集中力」（26.1%）の順となった。

図2-1 社会人として「自信がある」もの[男女別](複数回答)

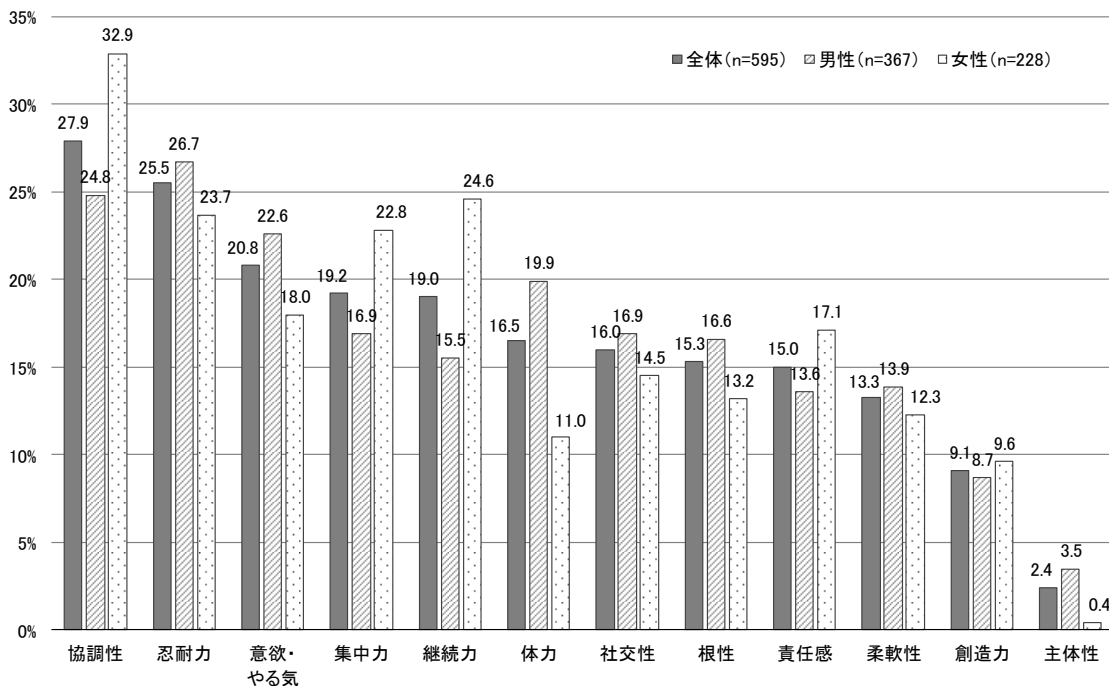
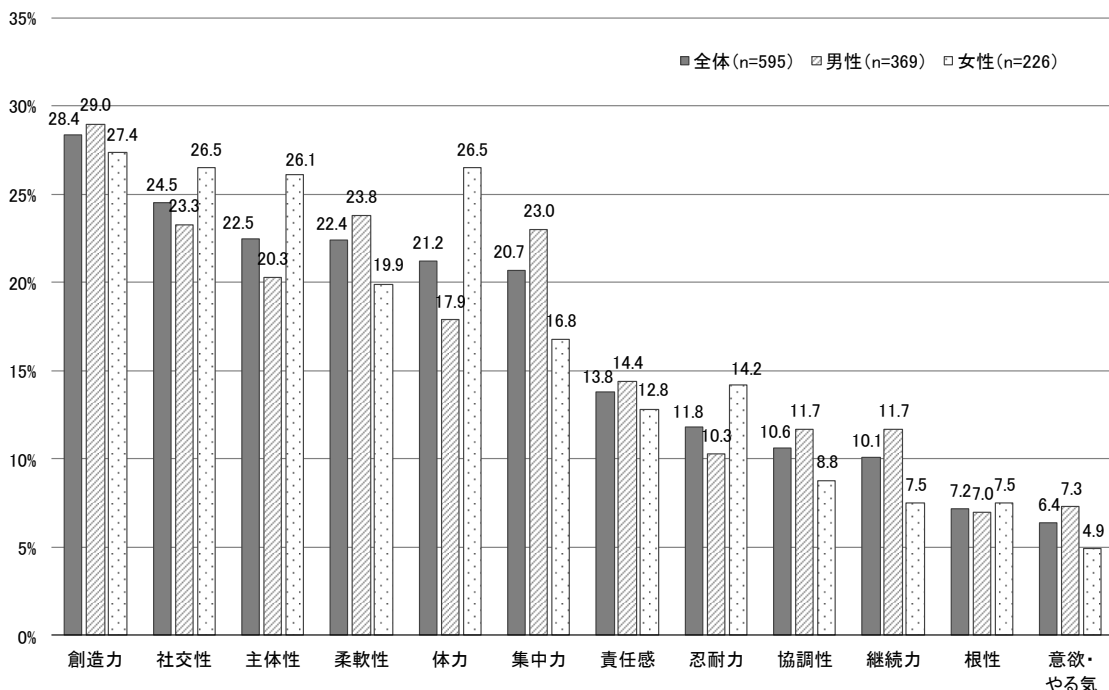
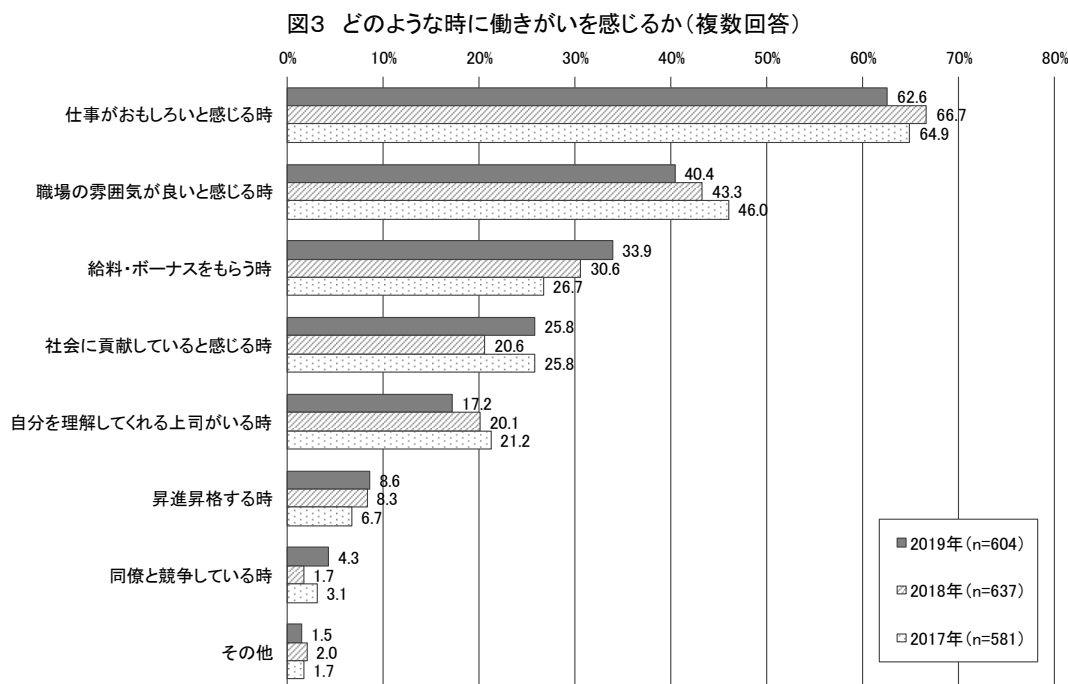


図2-2 社会人として「不足している」もの[男女別](複数回答)



## ■ 働きがいを感じるのは「仕事がおもしろいと感じる時」

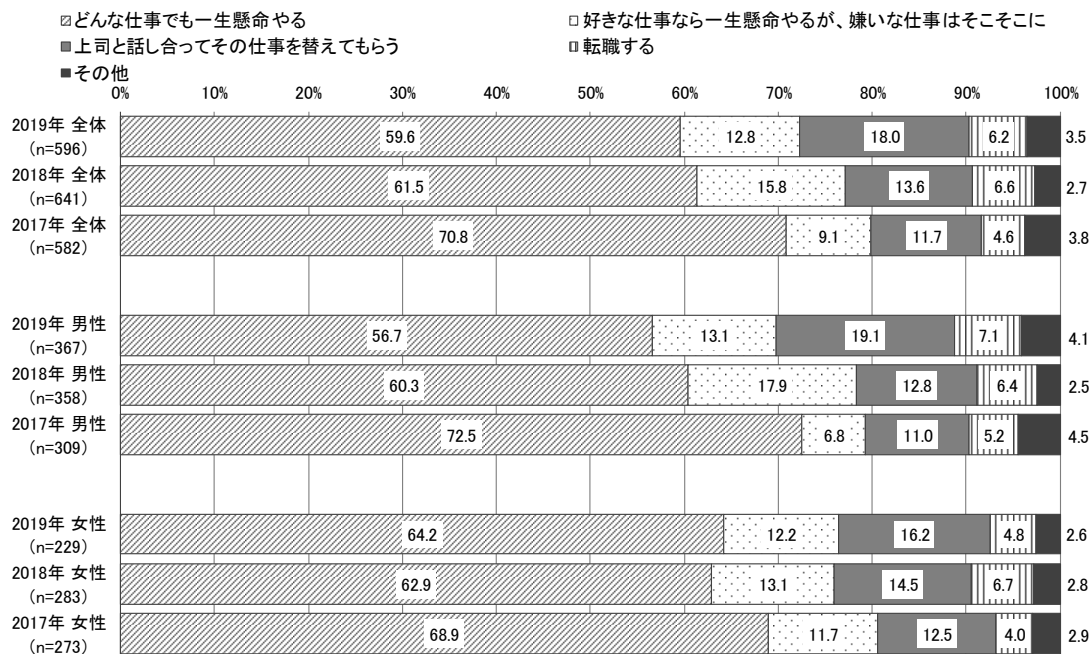
「どのような時に働きがいを感じるか」（複数回答）は、「仕事がおもしろいと感じる時」（62.6%）が最も高くなったものの、前年比-4.1ポイントとやや減少した。次いで「職場の雰囲気が良いと感じる時」（40.4%）、「給料・ボーナスをもらう時」（33.9%）が続いた。「職場の雰囲気〜」は3年連続で減少する一方で、「給料・ボーナスをもらう時」は3年連続で増加し、2年続けて3割を超えた。



## ■ 「どんな仕事でも一生懸命に」が6割を切る

「仕事が自分に合わないときはどうするか」は、例年どおり「どんな仕事でも一生懸命やる」（59.6%）が最も多くなったが、2年連続で減少し、04年の調査開始以来、初めて6割を切った。次いで多い「上司と話し合っその仕事を替えてもらう」（18.0%）は、調査開始以来、最も多くなった。

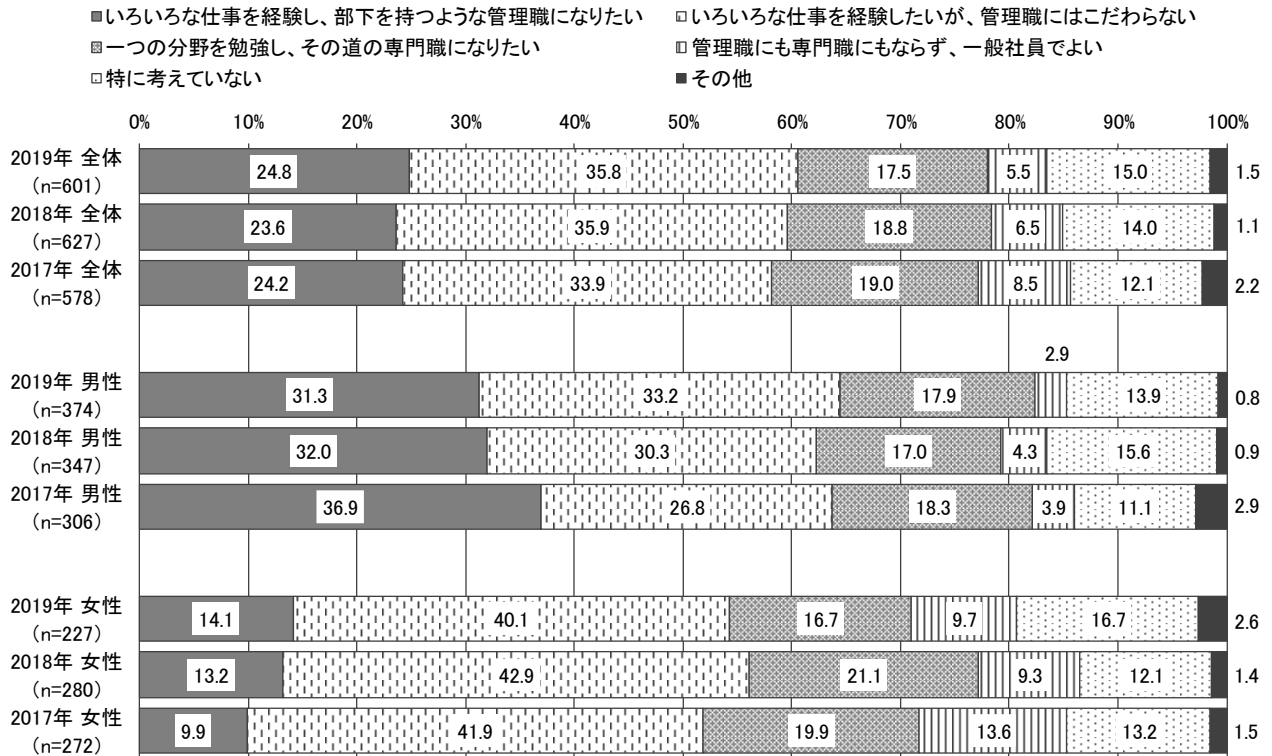
図4 仕事が自分に合わないときはどうするか



## ■ 10年ぶりに男性の「管理職にはこだわらない」が「なりたい」を上回る

「社会人としてどのような道を歩みたいか」は、「いろいろな仕事を体験したいが、管理職にはこだわらない」（35.8%）が最も多く、男性（33.2%）では09年以来、10年ぶりに「管理職になりたい」（31.3%）を逆転した。次いで多い「いろいろな仕事を体験し、部下を持つような管理職になりたい」（24.8%）は3年ぶりに増加したが、男性は低下、女性は上昇する傾向にある。「一つの分野を勉強し、その道の専門職になりたい」（17.5%）は前年比-1.3ポイントと3年連続で減少し、04年の調査開始以来、最も少なくなった。

図5 社会人としてどのような道を歩みたいか



## ■「よい仕事があれば転職」が6年連続で増加し、「転職・独立に関心あり」は14年ぶりに3割超。「子供ができたならやめる」女性、初めて1割を切る

「定年まで勤めたいか」は、「そうしたい」(52.3%)が最も多く、15年(57.3%)をピークに近年は横ばい傾向。一方で、「他によい仕事があれば転職する」(23.7%)は6年連続で増加した。安定志向は根強いが、「他によい仕事があれば転職する」と「いずれ独立したい」を合計した「転職・独立に関心あり」は30.5%で、05年(33.9%)以来、14年ぶりに3割を超えた。

男女別では、最多の「そうしたい」は男性57.5%、女性43.8%となった。男女とも「転職する」(それぞれ23.0%、24.8%)は2割を超え、前年比増加した。女性の「結婚したらやめる」(8.4%)は2年連続で増加したが長期的には減少傾向。「子供ができたならやめる」(9.3%)は7年連続で減少し、04年の調査開始以来、初めて1割を下回った。

図6-1 定年まで勤めたいか

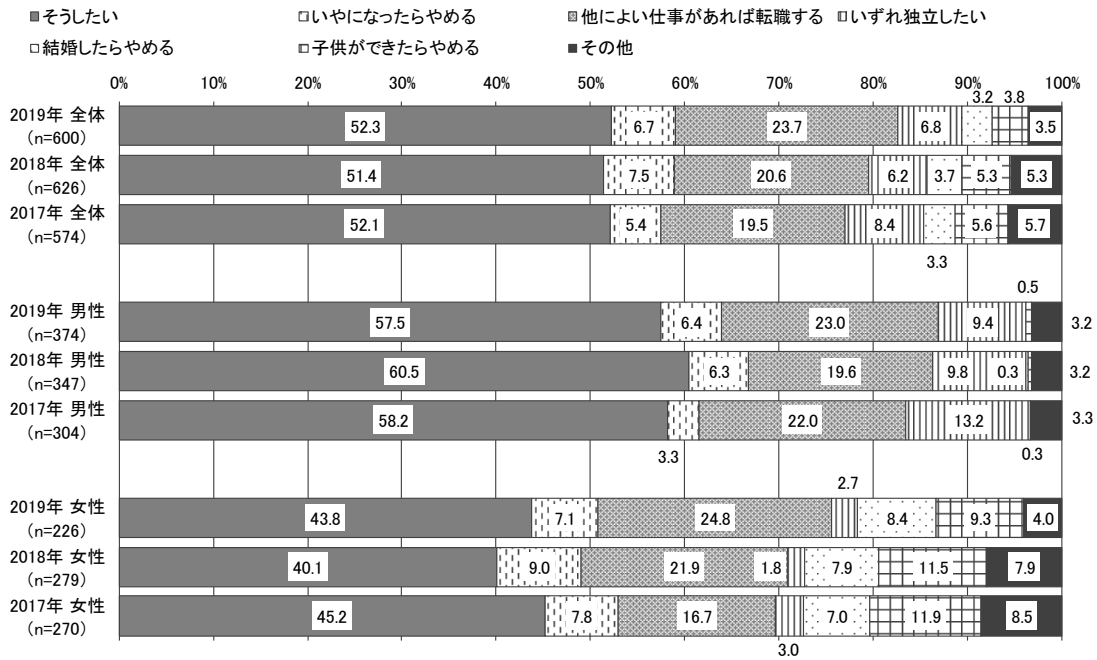
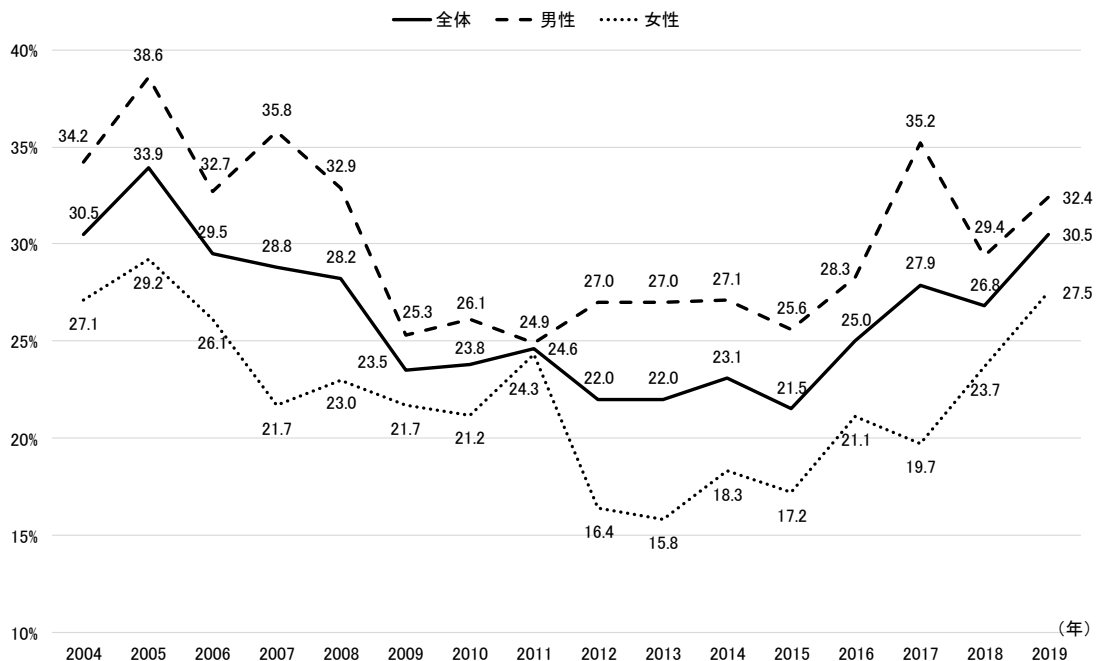


図6-2 「転職+独立」割合の推移

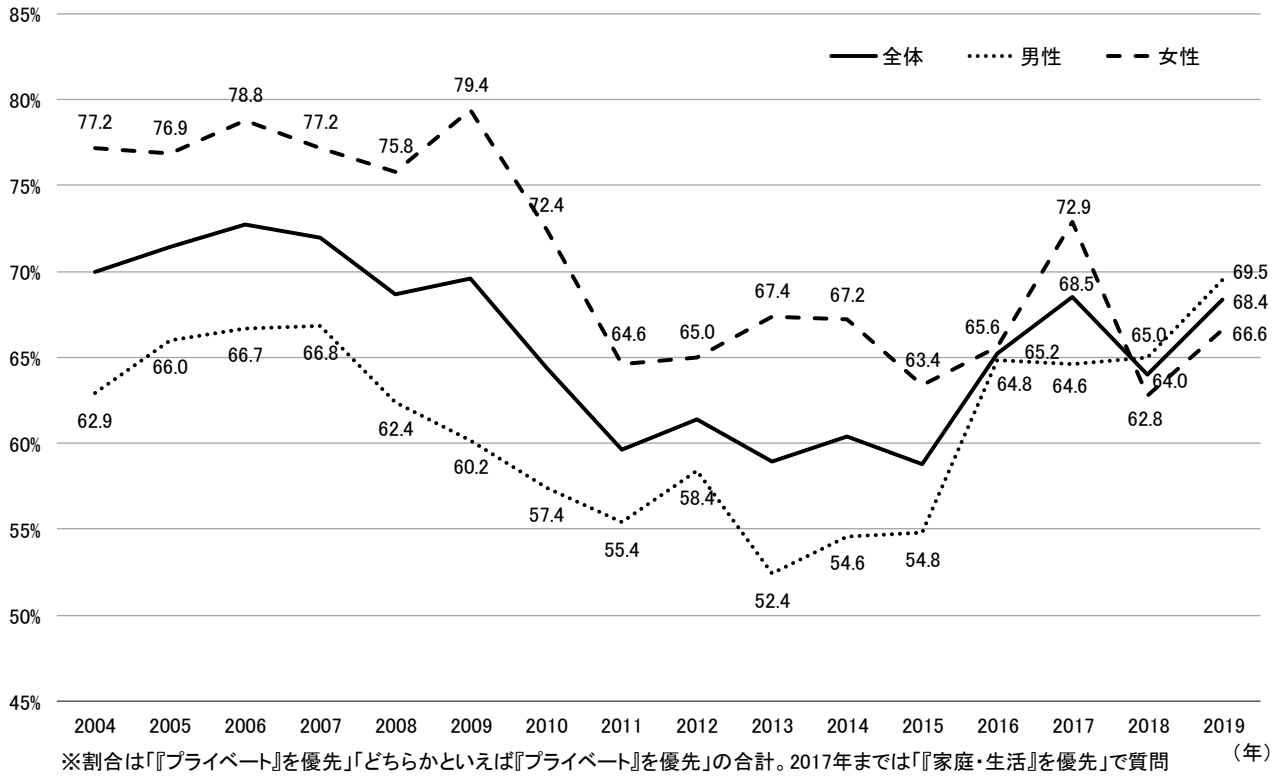


## ■「プライベート優先」2年連続で男性が女性を上回る

『仕事』と『プライベート』のどちらを優先した生活を送りたいかは、「プライベート」優先（「どちらかといえば」を含む）が68.4%と前年比+4.4ポイントと2年ぶりに増加した。男性（69.5%）、女性（66.6%）ともに増加し、2年連続で男性が女性を上回った。

※17年までは「会社・仕事」と「家庭・生活」で質問。今年より「仕事」「プライベート」に変更。

図7 「『プライベート』を優先」する割合の推移(男女別)

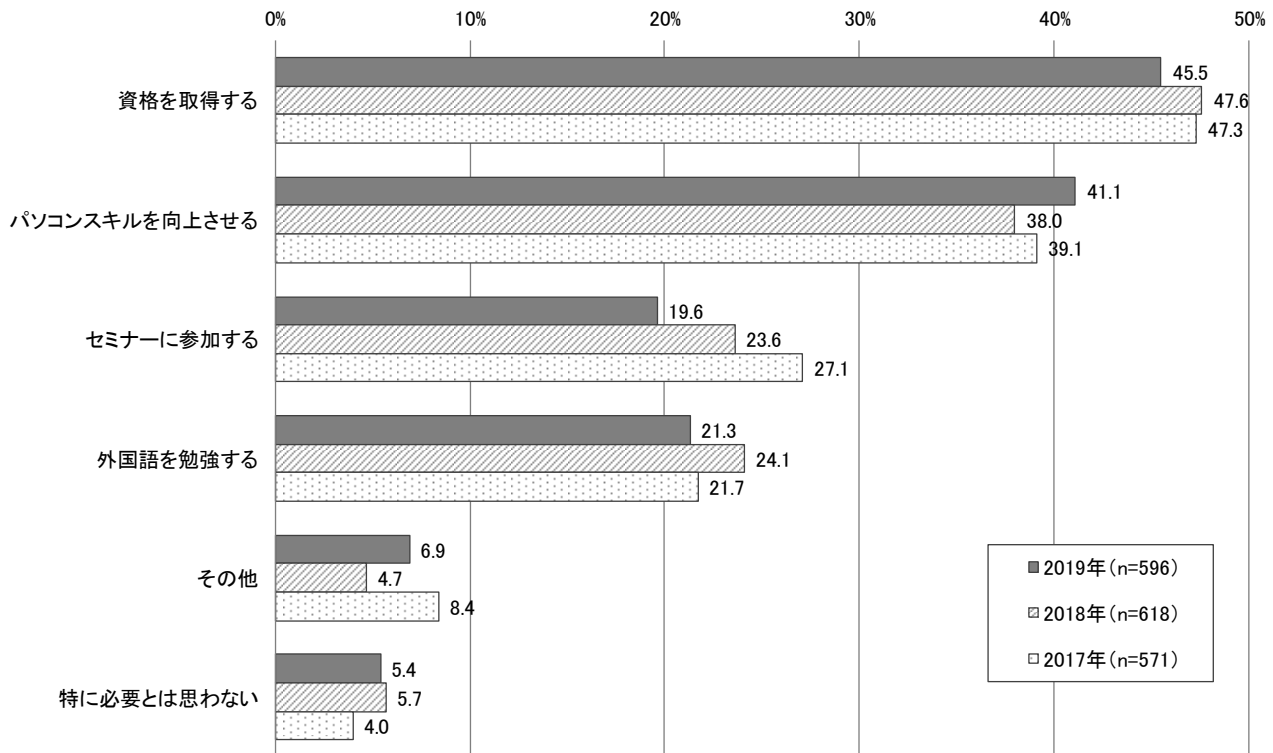


## ■「資格取得」を目指す約半数

「自分自身の技能や能力アップのために、どのような勉強が必要か」（複数回答）は、「資格を取得する」（45.5%）が最も高くなったものの、4年ぶりに減少した。次いで「パソコンスキルを向上させる」（41.1%）は2年ぶりに増加し、この質問を設定した11年以來、初めて4割を超えた。

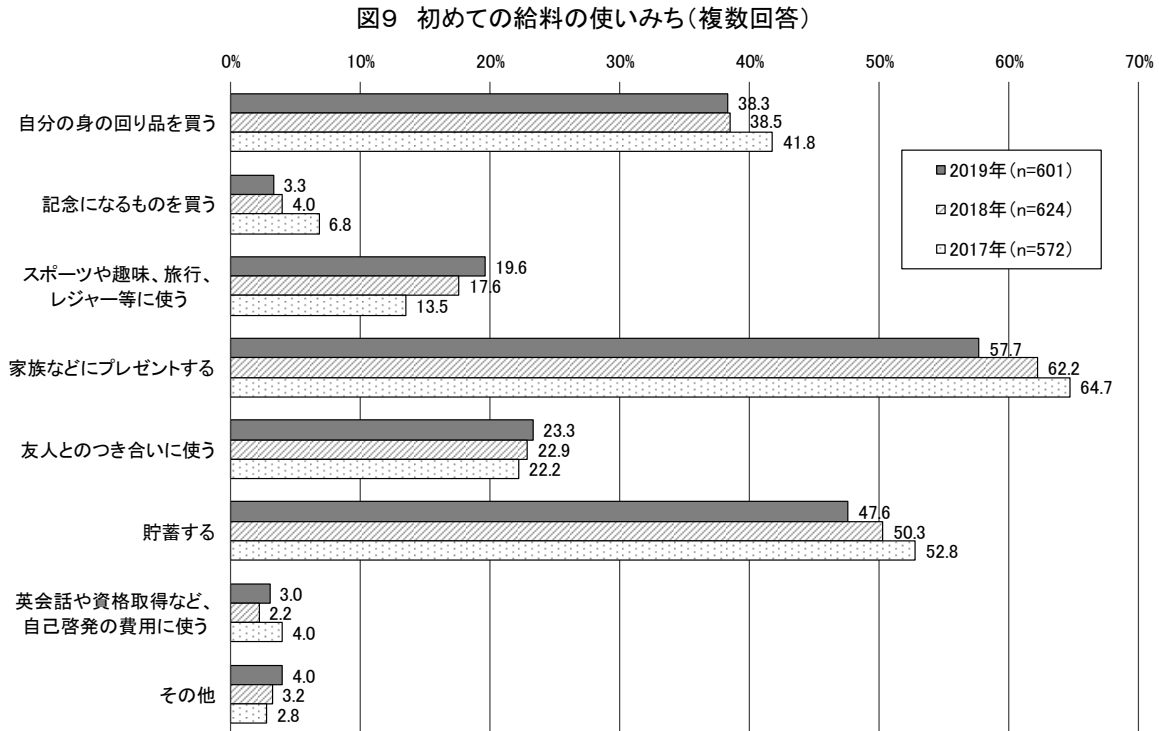
「資格を取得する」では、建築士（一級・二級を含む）、施工管理技士、技術士、フォークリフト免許等の資格や簿記等の検定試験といった、業種によって具体的な回答が多くあった。また「外国語を勉強する」の具体的記述では、「英語」が94人で最も多く、次いで「中国語」20人となり、他若干数だが「ベトナム語」「フィリピン語」「インドネシア語」など東南アジアの言語もあった。

図8 技能や能力アップのために必要だと思う勉強（複数回答）



## ■ 初めての給料は「家族へのプレゼント」「貯蓄」

「初めての給料の使いみち」（複数回答）は、「家族などにプレゼントする」（57.7%）が最も高く、次いで「貯蓄する」（47.6%）、「自分の身の回り品を買う」（38.3%）となったものの、いずれも近年は減少傾向にある。一方で、「友人とのつきあいに使う」（23.3%）は5年連続で増加し、「スポーツや趣味、旅行、レジャー等を使う」（19.6%）は04年の調査開始以来、最も多くなった。家族への感謝や貯蓄を重視しつつ、自分自身の楽しみへの消費意欲もあるようだ。



## ■ 理想の上司は、男性：イチローさん、女性：天海祐希さん、水ト麻美さん

「理想とする上司像を有名人に例えると」に対して、男性上司は、元プロ野球選手のイチロー（鈴木一郎）さんが75人で、15年以來、4年ぶりの1位となった。女性上司1位は女優の天海祐希さんとアナウンサーの水ト（みうら）麻美さん（ともに40人）で、天海さんは10年連続、水トさんは初の1位となった。

その理由を有名人一人につき最大二つまで選んでもらったところ、イチローさんは「目標やり方をはっきり示してくれそう」（38人）、「率先して手本を見せてくれそう」「頼りになりそう」（ともに28人）の順となり、天海祐希さんは「頼りになりそう」（22人）、「面倒見がよく、何でも相談できそう」「目標やり方をはっきり示してくれそう」（ともに14人）、水ト麻美さんは「優しく丁寧に指導してもらえそう」（33人）、「面倒見がよく、何でも相談できそう」（25人）となった。

表 理想とする上司像(2019年)

男性の上司	回答数(人)	順位	女性の上司	回答数(人)
イチロー	75	1	天海祐希	40
松岡修造	28	2	水ト麻美	40
明石家さんま	25	3	吉田沙保里	22
内村光良	24	4	吉田羊	17
櫻井翔	12	5	石原さとみ	16

※男女それぞれ1名をフリーアンサーで回答

以上